

**2002 KSC #6
爪木埼レース**

追加帆走指示書

2002年10月3日

**共催：JSAF加盟団体 外洋三浦、外洋東京湾、外洋三崎、外洋湘南
JSAF加盟団体 神奈川県セーリング連盟**

**運営：2002関東選手権実行委員会/外洋三崎・油壺フリート
協力：三崎マリン（株）**

1. 適用規則

- 1-1 2002KSC#6爪木埼レース実施要項及び追加帆走指示書
- 1-2 2002KSC特別規定、KSC共通実施要項及び共通帆走指示書
- 1-3 海上衝突予防法
- 1-4 JSAF特別規定 2001-2002
- 1-5 セーリング競技規則2001-2004 (RRS)
- 1-6 IMS2002及びIMS レギュレーションズ (IMS2002)
- 1-7 JSAF ORCクラブ運用規定 (ORC-club Ruleが発行された場合はこれに準拠する)
- 1-8 JSAF 外洋レース規則 - 2000 (第08条は本レース通信指示書におきかえる)

上記1-1～1-8に矛盾が生じた場合は、1-1が優先される。

2. 出艇申告後の乗員の変更

- 2-1 出艇申告書後の乗員の変更は、2002年10月5日07:30～08:00にレース本部に持参提出しなければならない。
FAXについては07:00～08:00で受付を可とする。
レース本部FAX番号；0468-57-2701
- 2-2 上記の通り提出できなかった場合には、レースへの参加を認められないが、該当レースは失格する。

3. 競技者に対する通告

競技者に対する通告は、レース本部前に設置された公式掲示板により行う。
尚、参加艇各マリーナにFAXするが、FAX送付に関する救済要求は認めない。

4. 帆走指示書の変更

- 4-1 2002年10月5日08:00までに公式掲示板に掲示する。
- 4-2 RRS88.2(c)により、海上での帆走指示書の変更は口頭で行なう。

5. レース旗及びクラス旗

- 5-1 レース旗；レース艇はJSAFクラブ旗・レース旗の順に掲揚し、チェックインから自艇のレースが終了するまでレース旗の下辺がデッキより1.5m以上の高さになるよう掲揚する事。
- 5-2 クラス旗；クラス旗は使用しない。

6. スタートエリア

スタートエリアは佐島沖とする。

7. コース

佐島沖 - ウェザーマーク (設置した場合) - 爪木埼北東方浮魚礁灯 (反時計廻り) - 網代埼灯浮標 (右に見る) - 小網代湾フィニッシュ (約80マイル)

ウェザーマークが設置されている場合には本部船にW旗を掲げ、且つオレンジ円筒形マークをポートサイドに見て回航する。

ウェザーマークのおおよそのコンパス方位及び距離は、遅くともスタート予告信号前までに本部船に掲示する。

8. マークの種類

- 8-1 使用するマークはアウトマークを黄色円筒形のインフレーターブルブイとする。

8-2 ウェザーマークはオレンジ円筒形インフレータブルブイとする。

9 . スタート

9-1 チェックイン

参加艇は各レース毎メインセイルを揚げ、L旗を掲揚した本部船または運営艇後方を右側に見て通過し、出走および乗員数の確認を受けなければならない。

9-2 スタート予告信号 10月5日(土)13:55

9-3 スタート方式

スタートはRRS26、を適用する。全クラス同時スタートとし、予告信号はJSAF大バージ旗を用いる。

RRS29.1及び29.3は”スタート・ラインのコース・サイドにある場合”を”スタート・ラインの両端と最初のマークとで作られる三角形の内側にある場合”に置きかえて読むものとする。

RRS30.1は”スタート・ライン又はその延長線上のコース・サイドにある場合”を”スタート・ラインの両端と最初のマークとで作られる三角形の内側にある場合”に置きかえて読むものとする。

スタート信号後20分を超えてからスタートラインを横切ってもスタートとは認めない。

10 . スタートライン

スタートラインはアウターマークとJSAF大エンサインを掲揚した本部船のマストを結ぶ線とする。

11 . ゼネラルリコール

RRS29.3に準ずる。

12 . 運営艇

本部船にはJASFD大エンサインを掲揚する。その他の運営艇にはJASF小クラブバージを掲揚する。

13 . 公式日の出、日没時刻

13-1 オフショアレースの公式日没時刻は10月5日17:24及び日の出時刻は10月6日05:41とする。

13-2 日没から日の出までの間は、海上衝突予防法を適用し、RRS第2章は適用しない。

14 . フィニッシュライン

14-1 小網代湾口に停泊している運営艇(ヨット)のJASFD大エンサイン旗を掲揚したマストとアウターマーク(黄色円筒形ブイ)との見通し線とする。

14-2 夜間は、運営艇には停泊灯と赤灯2ヶを縦に点灯する。アウターマークにはフラッシュを点灯する。

14-3 夜間フィニッシュする場合は、フィニッシュの約5分前までに発光信号A符号の連送(・・・)により予告すること。また、フィニッシュ時には自艇のセイルナンバーを照射すること。ケブラーセイル・ブラックセイル艇は光が反射し確認できないため、運営艇に対しセイル番号を音声により申告しなければならない。

15 . 失格に代わる罰則

15-1 RRS第2章の規則違反に対し、720度回転のペナルティーを適用する。

15-2 RRS第2章以外の規則違反の失格に代わる罰則として、早すぎるスタートをし、定められた方法でリコールを解消しなかった艇については、OCSに代えてタイムペナルティーとして5パーセントが所要時間に課せられる。

15-3 レース参加艇同志が夜間に会った場合、海上衝突予防法を適応するが、風を受けるげんが確認できず、自艇が被権利艇か否かが分からない場合、これを避けなければ国内法違反になる。(海上衝突予防法第12条1項三号)但し、互いに権利関係が確認された場合は海上衝突予防法を適応し、被権利艇が権利艇の航路権を侵して、それを被権利艇が認めた場合は、RRS44.1及び44.2に順ずる扱いとする。

16 . タイムリミット

10月6日(日) 15:00

上記タイムリミットまでにフィニッシュできなかった艇はDNFとなる。これはRRS35を変更するものである。

17 . 航跡図への記入

爪木崎北東方浮魚礁灯をMAG.0°に確認した時刻、フィニッシュ時刻、自艇の航跡、その他必要事項を正確に記入しなければならない。

18. 無線通信

18-1 下記の無線連絡を行わなくてはならない。

A. スタート前のラジオチェック

B. 定時ロールコール。18:05、00:05、06:05、12:05から無線通信リストに従いロールコールを行う事とする。

C. 想定されるフィニッシュタイムのおよそ1時間前に艇名と残航を連絡。

18-2 通信方法

VHF搭載の艇は『三崎ヨット』を71Chで呼び出し必要事項の報告を行なう。

携帯電話搭載の艇は、電話連絡により必要事項の報告を行う。

別紙2002 関東選手権通信規定 (KSC # 6 通信規定共用) 参照

定められた通信を行わなかった場合は20パーセントの順位ペナルティを課す事もある。

19. プロテスト委員会

プロテスト委員会は5名以上をもって構成され、審問及び判決に関しては3名以上により行われる。

20. 抗議

抗議はフィニッシュ後2時間以内に運営艇(フィニッシングボート)にて受け付ける。

21. 帰着申告

21-1 帰着申告は、レース報告書および航跡図に必要事項を記入し、艇長署名の上、自艇のフィニッシュ後2時間以内に運営艇(フィニッシングボート)に提出しなければならない。もしフィニッシングラインを撤去した場合はロールコールの携帯電話の番号に連絡し、指示を得る事。

21-2 提出書類が正しく記載されていない場合、あるいは提出期限に遅れた場合は20パーセントの順位ペナルティを課すこともある。

22. レースの成立

IMS、ORCクラブ、各クラス共1艇以上のタイムリミット内フィニッシュを持って各クラス成立する。

23. レースの中止

23-1 本部船にN旗を掲揚し音響3声を発する。この場合、特別な指示の無い限り再レースを行うものとする。N旗はスタートエリアにおいて音響1声とともに次の信号の1分前に降下される。

23-2 本部船にN旗とH旗を掲揚して音響3声を発してレースを中止した場合は、直ちに各マリーナに帰港するものとする。その後のスケジュールは、本帆走指示書第3項競技者に対する通告に定められた方法にて行う。

24. インスペクション

インスペクターは実行委員会によって任命され、事前インスペクション、レース期間中、諸条件に適合しているか否かをチェックする権限を持つ。海上でもインスペクションをランダムに行うことがある。

インスペクションで不備が発見された場合は失格とする場合もある。

25. レース本部と公式掲示板

レース本部と公式掲示板はサニーサイドマリーナ内に設置する。

TEL. 0468-57-2700

FAX. 0468-57-2701

26. 2002 関東選手権実行委員会

実行委員長 外山昌一

副実行委員長 稲葉文則、川久保史朗、福田義一

レース委員長 浜崎濠次郎

副レース委員長 山下弘雄、山中昭弘

プロテスト委員長 大村雅一

以上